

【別添2】（様式例2）

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1	学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） ・主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の鍛磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組む、地域社会の発展に貢献できる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） ・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ・基本的生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組む、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒
3	評価する領域・分野	◇進路指導部		
4	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「生徒に適した進路情報の提供や具体的な進路指導が行われているか」「進路に係るガイダンスやインターンシップが進路決定の参考になっているか」という質問に生徒は約85%以上が肯定的であるが、保護者は平均で67.3%にとどまっており、進路に対する保護者の期待や意向を踏まえて指導内容を改善し、学校の取組を広報していく必要がある。		
5	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇一人一人が自己の能力・適性を理解して将来のキャリアを思い描き、その実現に向けて主体的に進路選択ができるよう支援する。 ◇生徒のキャリアを実現するために必要となる学力や専門的な知識・マナー・コミュニケーション力を身に付けられるよう継続的に指導する。		
6	重点目標を達成するための校内における組織体制	・目標、各種の行事等の内容について進路指導部会にて検討する。 ・職員会議、学年別会議等により、進路情報の共有を図る。 ・ハローワーク、企業・上級学校担当者など外部との連携を密にする。		
7	目標の達成に必要な具体的な取組		8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 一人一人の進路目標を明確にし、生徒の進路意識を高める取組 (2) 教員・生徒に向けた適切な進路情報の提供とその共有化をはかる取組 (3) 進路実現へ向けた各種の支援		(1) 支援により、生徒が進路目標を設定し、その実現に向けた取組ができる。 (2) 教員間で生徒の進路情報を共有し、あらゆる場面で進路指導を行うことができる。 (3) 進路情報を入手し、生徒が自らの進路実現に向けて具体的に考えることができる。		
9	取組状況・実践内容等		10 評価視点	11 評価
・キャリア・パスポートやキャリアカウンセリングによる、進路を意識した学校生活に関する指導。 ・教員・生徒が進路に関する情報をいつでも迅速に入手できる環境の整備。 ・各種のガイダンスへの参加や生徒・保護者向けの進路説明会等の実施。		①生徒が進路について考え具体的な行動につながったか。 ②進路情報のデジタル化を推進し、情報共有ができたか。 ③適切なガイダンス等の実施により、進路意識が向上したか。		A B C D A B C D A B C D
12	成果・課題	○進路希望調査、求人票の管理・印刷、受験報告書の閲覧など、教員・生徒ともに進路情報を手軽に入手し、また共有できる環境を整備することができた。 ▲既存の進路関連ツールを効果的に活用し、進路意識の向上に繋げることができたが、これを一時的なものとせず、いかに維持・持続させるかが課題である。 ▲生徒の適性・能力に応じたきめ細やかな進路支援が不足している。より高い志を持たせ、その実現に向けて積極的に支援する指導・体制の確立が必要である。 ▲進路意識の未熟さ・進路研究等の不足により、各方面にご迷惑をおかけした。		総合評価 A B C D
13	来年度に向けての改善方策案 ・生徒の実態に応じた内容であるか、進路意識が向上する取組であるかといった点から、進路関係行事や各種の選考会（規定）に関する見直しを行いたい。また、形式的ではなく、生徒の今後の生き方・在り方といった内面に迫る進路指導について検討したい。			

II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年 月 日

【意見・要望・評価等】
・
・

